

(1) 市の認知度向上、定住促進につながる情報発信

| | |
|---|---|
| 方向性 | 市の魅力を広く市内外へ PR して市の認知度向上と定住促進につながるよう、さまざまな手法による情報発信に取り組みます。 |
| 取り組み | <p>広報アドバイザーからの助言を踏まえ、地域情報誌や民間事業者とのタイアップなどにより、昨年度より取り組んでいる「マイカタちゃいます、」及び「枚方家族」をキャッチフレーズとした PR をさらに広く展開します。</p> <p>現在運用中のフェイスブック、ツイッターの充実を図るとともに、市公式インスタグラムを開設し、若年層への PR に努めます。</p> <p>動画配信を充実させ、「伝わる」を意識した情報発信に取り組みます。</p> <p>《目標値》</p> <p>市公式フェイスブック ページの「いいね！」数：年間 1,000 人増 (H30. 3 月時点：2,323 人)</p> |
| 平成 30 年度当初予算：5,600 千円（広報アドバイザー報酬、広告料、委託料） | |



市制施行 70 周年記念冊子
「70 年！枚方家族」

9 月末の
進捗状況
【〇】

枚方市の認知度アップにつなげる PR として、「マイカタちゃいます、分布図」調査を 5 月からスタートさせました。新聞等で取り組みが紹介されたこともあり、調査員 115 人の協力を得て 45 都道府県 1,371 人からの回答を集めることができました。現在、結果公表に向けて準備中です。

市 PR 大使など枚方ゆかりの著名人が「枚方家族！」と一言発する動画の撮影を順次行っており、今後市公式 SNS 等で配信予定です。また、「枚方家族バッジ」を作成し、市公式 SNS をフォローしてくれた人などにイベント等で配布しています。

市公式インスタグラムアカウントを 9 月末に開設しました。また、若年層への PR をさらに効果的に行うため、庁内の若手職員が集まりアイデアを出し合える「インスタグラム隊」の設置要綱を制定しました。

(2) 全庁的な情報発信力の強化

| | |
|------|---|
| 方向性 | 全庁的な情報発信力をさらに高め、各部署の連携強化を図るとともに、職員の広報意識向上及びスキルアップを図ります。 |
| 取り組み | <p>庁内各課からの情報発信に係る個別相談に応じる「頼りになる広報課」としての体制を充実させ、職員一人ひとりのスキルアップを図ります。</p> <p>本年2月に創刊した庁内報「広報のチカラ」を定期的に発行します（年4回）。</p> <p>市民3,000人を対象とした「情報発信に関するアンケート」を実施し、その調査結果をさらなる情報発信力の強化に活用します。</p> <p>職員の広報意識向上を図るための研修を実施します。</p> <p>《目標値》</p> <p>「頼りになる広報課」への相談件数：30件（昨年度比10件増）</p> <p>平成30年度当初予算：117,077千円（広報ひらかた発行経費、諸経費（広告料、委託料を除く）、ホームページ経費）</p> |

9月末の 進捗状況 【〇】

「頼りになる広報課」の取り組みとして、各課のチラシデザインなどのアドバイスを行っているほか、庁内報第2号を5月に発行。職員一人一人のスキルアップを図る取り組みを進めています。

市民3,000人を対象とした「情報発信に関するアンケート」は、郵送だけでなく今回初めてウェブでの回答も可能として9月に実施しました。集計結果は今年度中に公表予定です。

6月に予定していた広報担当者向け研修は地震等のため延期し、10月24日に実施予定です。

(3) 平和施策や人権施策の推進

| | |
|------|--|
| 方向性 | 悲惨な戦争の経験を風化させることのないよう、戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代に伝えるとともに、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりに取り組みます。 |
| 取り組み | <p>戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代に伝えるため、「平和の燈火（あかり）」や「ひらかた平和フォーラム」の開催をはじめ、平和資料室のパネル展示、平和映画会、講演会などに取り組みます。</p> <p>また、すべての人々の人権が尊重され、差別のない社会の実現を目指し、より多くの市民が人権について身近に感じ考えることができるよう、講座や映画会など多様な人権啓発事業を展開します。</p> <p>《目標値》</p> <p>「ひらかた平和フォーラム」のアンケート結果における「平和に対する関心や理解が大変深まった」「まあ深まった」の割合：96%（昨年度比5ポイント増）</p> <p>平成30年度当初予算：8,456千円（平和啓発）、9,518千円（人権啓発）</p> |

| | |
|------------------------------|---|
| 9月末の 進捗状況 【〇】 | 市民の平和に対する意識の醸成を図るため、5月に講演会「憲法のつどい」、夏季に平和資料室の特別パネル展「サダコと折り鶴ポスター展」を開催しました。また、市民が人権について身近に感じ考える機会となるよう、9月に連続講座「生きること」を開催しました。なお、例年夏季に実施している平和映画会については、大阪北部地震の影響により、中止となりました。 |
|------------------------------|---|

| (4) DV 予防や男女共同参画の取り組みの推進 | |
|--------------------------|--|
| 方向性 | 次代を担う子どもたちに対し、暴力の被害者や加害者にならないためのDV予防や男女共同参画の理解を深める学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現に向け、市民を対象にした啓発講座や相談事業の充実を図ります。 |
| 取り組み | 教育委員会と連携し、引き続き市立小学校4年生を対象に「DV予防教育プログラム」を実施するとともに、新たに市立中学校2年生を対象にした「デートDV予防教育プログラム」を実施します。また、ワーク・ライフ・バランスの促進に向けた男性対象の啓発講座や、多様な性への理解促進を目的とした啓発活動を行うほか、枚方市駅直結の男女共生フロア・ウィルの利便性を生かして幅広く市民が利用できるよう、男女共同参画推進拠点施設機能としての充実に努めます。 ≪目標値≫ 「DV・デートDV予防教育プログラム」実施クラス：27クラス（昨年度比10クラス増） 平成30年度当初予算：2,702千円（DV防止対策事業経費）、11,954千円（男女共生フロア経費） |

| | |
|------------------------------|---|
| 9月末の 進捗状況 【〇】 | DV予防教育プログラムについては、実施予定の小中学校6校のうち3校で実施しました。また、中学生向けのデートDV予防教育については、地震の影響により当初の予定が延期になり、11月以降に7校で実施を予定しています。ワーク・ライフ・バランスの促進に向けた男性対象の啓発講座としては、7月に男性を対象にした妻とのパートナーシップに関する講座と、8月に父子を対象にした育児講座を実施しました。 多様な性への理解促進に向けた取り組みとして、職員向けの窓口対応マニュアル作成に向けて関係課会議を開催しました。 男女共生フロア・ウィルでは、交流スペースを貸し出し、男女共同参画に資する市民の活動支援を行ったほか、仕事帰りの市民を対象にした男女共同参画に関するミニ講座や映画上映会を夜間の時間帯に実施し、幅広い市民層にウィルが身近な男女共同参画の拠点施設であることをPRしました。 |
|------------------------------|---|

(5) 市への意見・要望の内容及び対応状況の共有化

| | |
|------|--|
| 方向性 | 市民からの意見・要望とその対応状況の共有化について、「市長への提言」にとどまらず、庁内各課で受け付けしている個別案件も対象とし、より幅広い市民の意見を市政に反映します。 |
| 取り組み | 本年度は試行として、個別の問い合わせの多い10課程度を対象に収集した意見・要望の内容及びその対応状況を一覧化し、市長に報告します。 次年度以降、試行状況を検証したうえで、本格実施に向けた検討を進めます。 |

9月末の 進捗状況 【○】

平成30年10月末までを試行期間として実施しており、対象とする案件があった場合、月次で報告をいただいています。
試行期間終了後、内容及び対応状況を一覧化し、市長へ報告する予定です。